



### やっぱり鬼は怖い



西保育所(川村あつ子所長)で節分の豆まきが行われました。

数日前からお面と豆入れを作り、当日を楽しみにしていた子ども達ですが、突然、登場した赤鬼と青鬼に驚き逃げ回る子が続出。勇気を振り絞り、「鬼は外!!福は内!!」と豆をぶつくと怖い鬼も退散して行きました。また、鬼と福の神に扮した子ども達は、みんなで今年1年の無病息災を願いました。(2月3日)

### 将来の職業は？



当別高等学校(杉本祐子校長)家政科保育コース3年生が同コース2年生と協力し、卒業制作発表会を行いました。今回のテーマは子ども達が様々な職業を模擬体験する「キッズニア当別」。町内の保育所や幼稚園児が招待され、お花屋さん、消防士や運転手体験、お寿司屋さんなどを体験し、楽しみました。

3年生の森山恵さんは、「昨年11月から準備を進めてきました。子ども達の楽しんでいる笑顔がとても印象的でした。これからも保育の勉強を頑張りたいと思います。」と話していました。(2月6日)

### 自ら学び知る



21世紀鮎田塾(住んでみたい当別推進協議会主催)がふれあい倉庫で開催され、40名が参加しました。

第一部は「地域で自然エネルギーを利用すること」をテーマに、北海道大学大学院工学部助教の山形定氏による石油などの化石エネルギーから自然エネルギーの活用へ転換していく必要性について、他自治体の実践例を交えた講演。第二部では、「木に触れて林で遊び森と育つ」をテーマに、当別森林ボランティア「シラカンバ」から活動報告があり、森林の間伐や炭焼きなどが紹介されました。(2月14日)

広 告

広 告

広 告

広 告

感心する意見多数



町内の学校を代表して、14名の生徒が日頃思うことや将来の夢などを発表する「少年の意見発表会」が白樺コミュニティーセンターで開催されました。

それぞれが自由なテーマで、自分自身や、社会問題、努力することの大切さ、親への感謝・尊敬の気持ちを発表し、視聴した方も子どもの視点からとらえた発表に感心していました。

なお、最優秀賞に選ばれた稲垣ふたば二葉さん(当別中1年生)は、7月に開催が予定されている「少年の主張石狩地区大会」に当別町を代表して出場します。

(2月15日)

チューリップ出荷始まる



春を感じる代表的な花といえばチューリップ。まだ降雪が続く中、ビニールハウスで立派に成長したチューリップの出荷が始まり、花の市場(札幌花き園芸)で初セリが行われました。今回は、クリスマスドリーム、モンテオレンジの2品種が出荷され、今後、3月上旬から4月末まで約60品種が出荷されます。そのほとんどが道内で販売されるほか、一部道外の花屋でも当別産のチューリップが店頭に並び、人々の目を楽しませてくれます。(当別のチューリップについては、5ページの「現在を生きる」でご紹介しています。)

(2月17日)



広告

広告

広告

広告